



河北町立西里小学校学校便り

発行：校長 須藤里佳

令和6年1月31日

nishizato



龍頭蛇尾にならぬように

あけましておめでとうございます。年の初め、様々「こうしよう。やるぞ。」と目標を掲げますが、最初の勢いはどこへやら、尻つぼみ状態にならぬように「龍頭蛇尾」を今年は戒めの言葉にしようかと考えております。

1月9日、3学期がスタートしました。3学期の始業式の校長の話では、やはり能登半島の地震のことを取り上げずにはいられませんでした。今まだ続いている避難民の方々、ご家族を亡くされた方々のお気持ちを考えると胸が痛くなります。命の大切さを感じ、そして自分はどうか生きるかを考えてほしいと話しました。



命＝時間

100歳を超えてもご活躍していた医師の日野原重明先生は「命は時間のことである」とおっしゃっていました。命という目に見えないものを、見えること、子どもたちにもわかる「時間」に日野原先生は置き換えた絵本を出しておられます。そこで子どもたちに「**命を大事にするということは、時間を大事にすること。**よりよく生きるために、時間を考えて使ってみよう。」と始業式で話しました。そのあと、具体的に生活の時間をどのように考えたらよいか、24時間の生活表で考えました。

1番目に大事な時間は「**睡眠時間**」…子どもは9時間は確保したい。質の良い睡眠にするためには、ふとんに入る前1時間の過ごし方が重要。
(〇おふろ △スマホ・ゲーム)

2番目に大事な時間は「**食事と団らん**」…団らんは子どもの心の安定のもと。

「命を大事にする」という漠然としたことも、具体的に自分の生活を見直すことで考えることができますし、自分で「よりよい生き方」をつくっていくことができます。そして、真剣に考える子どもに寄り添える大人でありたいと考えております。

始業式後、書初め大会を行いました。各学年の書初めの言葉に、自分の「ねがい」を込めて書くようにと話しました。実に真剣に、しっかりと取り組んでいました。よい1年になりますように。



地域の皆様 ご来校ありがとうございます！

大谷翔平グローブと書初め展

話題の大谷グローブを書初め展と一緒に展示をしたところ、たくさんの方にご来校いただきました。「学校に入ったの何年ぶりかな。」「いいね。

子どものもの見るの。」という声を嬉しくお聞きしました。地域の方が気軽に学校においでいただけるようなことを考えていきたいと思っております。



手袋の落とし物

雪の降る日、登校中に手袋を落としてしまったという子がいました。すると間もなく、「小学生でないかと思って持ってきた。」と手袋を届けてくださいました。そんなことが2回も続けてあり、地域の方の温かさを感じました。

お母さんが家庭科の先生

5年生の家庭科でミシンを学習しました。ミシンは最初の糸のかけ方を覚えるのが大変です。そこで、おうちの方に呼びかけたところ、3名の方が学習の補助をしてくださいました。こんな関わり方も、子どもにとっては学びの一つだと強く思いました。

ぜひ来年は、図工でのこぎりやトンカチの使い方や書道・俳句などでも、お手伝いいただけたらと願っております。



おめでとう

つるり里芋体験農業記録大会

葉の大きさ・草丈コンテストの部【優賞】西里小三年生の皆さん

図画コンテストの部【優秀賞】三年 佐藤紅里・佐藤景一

【優賞】三年 塩澤美心・横山寛歩・高橋末季子

人権書道コンテスト

【優秀賞】六年 古澤桜空

2月の予定

- 1（木）就学時オリエンテーション
弁当日
- 7（水）授業参観日・子育て学習会
学年総会・常任委員会
- 8（木）3年警察署見学

- 13（火）交通指導員さん感謝の会
- 15（木）第3回学校運営協議会
- 20（火）6年生を送る会
- 21（水）子ども文庫
- 29（木）学校保健委員会・PTA 三役会

能登半島地震への募金活動



西里小学校は今年度より JRC（青少年赤十字）に加盟しました。保護者の方々に児童それぞれが募金の呼びかけをしました。ご賛同いただける方は、2月7日にお願いいたします。